

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公表番号】特表2018-512412(P2018-512412A)

【公表日】平成30年5月17日(2018.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2018-018

【出願番号】特願2017-549276(P2017-549276)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 K 8/26 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/25

A 6 1 K 8/26

A 6 1 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月15日(2019.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着色剤と、少なくとも9.0 μ mの d_{50} レーザー及び少なくとも1.0のラメラリティーインデックスを持つタルク微粒子とを含み、該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする化粧料組成物。

【請求項2】

ヒトの皮膚に適用するための化粧料組成物であって、該化粧料組成物が、着色剤と、色彩を強化する量のタルク微粒子とを含み、該タルク微粒子が、該化粧料組成物の色彩を、(i) より少量の該化粧料組成物が、色彩の低下無しに、該皮膚の任意の所定の表面積に適用できるように、及び/又は(ii) 該化粧料組成物の色密度が、該タルク微粒子を欠いた該化粧料組成物と比較して、強化されるように、及び/又は(iii) より少量の前記着色剤が、該タルク微粒子を欠いた該化粧料組成物に比して、色密度の低下無しに使用し得るように強化するものであり、そして該タルク微粒子が、少なくとも9.0 μ mの d_{50} レーザー及び少なくとも1.0のラメラリティーインデックスを有し、かつ前記タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする化粧料組成物。

【請求項3】

顔の特徴に係る視覚的外観を修正するための化粧方法であって、該顔の特徴に対して、着色剤と、色彩を強化する量のタルク微粒子とを含有する化粧料組成物を適用する工程を含み、前記タルク微粒子が、少なくとも9.0 μ mの d_{50} レーザー及び少なくとも1.0のラメラリティーインデックスを有し、かつ前記タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする方法。

【請求項4】

前記色彩を強化する量のタルク微粒子の存在が、前記色彩を、(i) より少量の前記化粧料組成物が、色彩の低下無しに、前記顔の特徴に係る任意の所定の表面積に対して適用することができ、及び/又は(ii) より少量の前記着色剤が、色密度の低下無しに、使用し得

るように強化する、請求項 3 記載の化粧方法。

【請求項 5】

化粧料組成物における色彩強化剤としての、タルク微粒子の使用であって、該タルク微粒子が、少なくとも $9.0\mu\text{m}$ の d_{50} レーザ及び少なくとも 1.0 のラメラリティーインデックスを有し、かつ前記タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として 20% 未満のアルミニウムを含むことを特徴とする使用。

【請求項 6】

プレストパウダー化粧料における色彩強化剤としての、タルク微粒子の使用であって、該タルク微粒子が、少なくとも $9.0\mu\text{m}$ の d_{50} レーザ及び少なくとも 1.0 のラメラリティーインデックスを有することを特徴とする使用。

【請求項 7】

前記タルク微粒子が、少なくとも $10.0\mu\text{m}$ の d_{50} レーザ、少なくとも 1.0 のラメラリティーインデックス及び、該タルク微粒子の質量を基準として 10% 未満のアルミニウム含有率を有する、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の化粧料組成物、又は方法、又は使用。

【請求項 8】

(i) 前記タルク微粒子が、少なくとも 2.0 、例えば少なくとも 4.0 、又は少なくとも 6.0 のラメラリティーインデックスを有し、及び/又は(ii) 該タルク微粒子が、 5% 以下、例えば 2% 以下、例えば 1% 以下のアルミニウム含有率を有する、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の化粧料組成物、又は方法、又は使用。

【請求項 9】

前記タルク微粒子が、 $6.0\sim 8.0$ 、例えば、 $6.5\sim 7.5$ のラメラリティーインデックスと、 $20.0\mu\text{m}\sim 25.0\mu\text{m}$ の d_{50} レーザと、任意に、 $2.5\mu\text{m}\sim 3.5\mu\text{m}$ の d_{50} セディとを有する、請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載の化粧料組成物、又は方法、又は使用。

【請求項 10】

前記タルク微粒子が、 $1.0\sim 3.0$ 、例えば、 $1.0\sim 2.5$ 、又は $1.25\sim 2.0$ のラメラリティーインデックスと、 $30.0\mu\text{m}\sim 40.0\mu\text{m}$ の d_{50} レーザと、任意に、 $10.0\mu\text{m}\sim 15.0\mu\text{m}$ の d_{50} セディとを有する、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の化粧料組成物、又は方法、又は使用。

【請求項 11】

前記タルク微粒子が、例えば該タルク微粒子の疎水性又は親油性を高めるために、表面処理されている、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載の化粧料組成物、又は方法、又は使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

18. 先行するパラグラフの何れかに記載の化粧料組成物、あるいはプレストパウダー化粧料、あるいは方法、あるいは使用であり、そこにおいて上記無機粒状物質は、少なくとも約 2.0 、例えば少なくとも約 4.0 、あるいは少なくとも約 6.0 のラメラリティーインデックスを持つ。

19. 先行するパラグラフの何れかに記載の化粧料組成物、あるいはプレストパウダー化粧料、あるいは方法、あるいは使用であり、そこにおいて上記無機粒状物質は、約 5% 以下の、例えば約 2% 以下の、例えば約 1% 以下のアルミニウム含有率を持つ。

20. 先行するパラグラフの何れかに記載の化粧料組成物、あるいはプレストパウダー化粧料、又は方法、又は使用であり、そこにおいて上記無機粒状物質は、

(i) 約 $6.0\sim$ 約 8.0 、例えば約 $6.5\sim$ 約 7.5 のラメラリティーインデックス、約 $20.0\mu\text{m}\sim$ 約 $25.0\mu\text{m}$ の d_{50} レーザ、及び場合により約 $2.5\mu\text{m}\sim$ 約 $3.5\mu\text{m}$ の d_{50} セディ；又は

(ii) 約1.0～約3.0、例えば約1.0～約2.5、又は約1.25～約2.0のラメラリティーインデックス、約30.0 μm ～約40.0 μm の d_{50} レーザ、及び場合により約10.0 μm ～約15.0 μm の d_{50} セディ；又は

(iii) 約4.0～約6.0、例えば約4.5～約5.5のラメラリティーインデックス、約15.0 μm ～約25.0 μm の d_{50} レーザ、及び場合により約3.0 μm ～約4.0 μm の d_{50} セディ；

(iv) 約3.5～約5.0、例えば約4.0～約5.0のラメラリティーインデックス、約8.0 μm ～約12.0 μm の d_{50} レーザ、及び場合により約1.5 μm ～約3.0 μm の d_{50} セディ、及び場合により上記タルク微粒子の全質量を基準として約10%～約15%のアルミニウム含有率を持つ。

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

〔1〕着色剤及び少なくとも約5.0 μm の d_{50} レーザ、少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを持つタルク微粒子を含み、及び該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする化粧料組成物。

〔2〕ヒトの皮膚に適用するための化粧料組成物であって、該化粧料組成物が、着色剤及び色彩を強化する量のタルク微粒子を含み、該タルク微粒子が、該化粧料組成物の色彩を、(i) より少量の該化粧料組成物が、色彩の低下無しに、該皮膚の任意の与られた表面積に適用できるように、及び/又は(ii) 該化粧料組成物の色密度が、該タルク微粒子を欠いた該化粧料組成物と比較して、強化されるように、及び/又は(iii) より少量の着色剤が、該タルク微粒子を欠いた該化粧料組成物に比して、色密度の低下無しに使用し得るように強化する、前記化粧料組成物。

〔3〕顔の特徴に係る視覚的外観を修正するための化粧方法であって、該顔の特徴に対して、着色剤及び色彩を強化する量のタルク微粒子を含有する化粧料組成物を適用する工程を含む、前記方法。

〔4〕前記色彩を強化する量のタルク微粒子の存在が、前記色彩を、(i) より少量の前記化粧料組成物が、色彩の低下無しに、前記顔の特徴に係る任意の与られた表面積に対して適用することができ、及び/又は(ii) より少量の着色剤が、色密度の低下無しに、使用し得るように強化する、前記〔3〕記載の化粧方法。

〔5〕化粧料組成物における色彩強化剤としての、タルク微粒子の使用。

〔6〕凝集力エンハンサを含むプレッドパウダー化粧料であって、該凝集力エンハンサが、少なくとも約5.0 μm の d_{50} レーザ及び少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを持つタルク微粒子を含み、これから本質的になり、あるいはこれからなっており、該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする化粧料。

〔7〕プレッドパウダー化粧料における凝集力エンハンサとしての、タルク微粒子の使用。

〔8〕前記タルク微粒子が、少なくとも約5.0 μm の d_{50} レーザ及び少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを持つ、前記〔5〕又は〔7〕記載の使用。

〔9〕粉末化粧料コンパクトの凝集力を強化する方法であって、該方法が、該粉末化粧料コンパクトの製造中に、少なくとも約5.0 μm の d_{50} レーザ及び少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを持つタルク微粒子を組入れる工程を含むことを特徴とする方法。

〔10〕亀裂防止性添加剤を含むプレッドパウダー化粧料であって、該亀裂防止性添加剤が、少なくとも約5.0 μm の d_{50} レーザ及び少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを持つタルクを含み、これから本質的になり、あるいはこれからなっており、該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として、約10%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする化粧料。

〔11〕プレッドパウダー化粧料における亀裂防止性添加剤としての、タルク微粒子の使用。

〔12〕前記タルク微粒子が、スラリー形状で使用され、前記粉末化粧料コンパクトが、湿式プレス成型法により製造され、かつ(i) 該タルク微粒子が、少なくとも約5.0 μm の d_{50} レーザ及び少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを有し、及び/又は(ii) 該

タルク微粒子が、未被覆であり、及び/又は(iii) 該プレスドパウダー化粧料が、オイルベースのバインダを含む、前記〔11〕記載の使用。

〔13〕プレスドパウダー化粧料の亀裂を防止する方法であって、该方法が、プレスドパウダー化粧料コンパクトのプリカーサに、スラリー形状にあるタルク微粒子を組入れ、及び該プリカーサを湿式加工して、視覚的に亀裂を持たないプレスドパウダー化粧料を製造する工程を含み、場合により、(i) 該タルク微粒子が、少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ及び少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを有し、及び/又は(ii) 該タルク微粒子が未被覆であり、及び/又は(iii) 該プレスドパウダー化粧料がオイルベースのバインダを含むことを特徴とする亀裂防止法。

〔14〕タルク微粒子の、プレスドパウダー化粧料における色彩強化剤、凝集力エンハンサ及び亀裂防止添加剤としての使用であって、場合によりそこにおいて該タルク微粒子が、少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ及び少なくとも約1.0のラメラリティーインデックスを持つ、前記使用。

〔15〕被覆率及び/又は不透明度エンハンサを含む化粧料組成物であって、該被覆率及び/又は不透明度エンハンサが、タルク微粒子を含み、これから本質的になり、又はこれからなっており、該タルク微粒子が、少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0、例えば少なくとも約3.0のラメラリティーインデックス、及び該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウム含有率を有することを特徴とする化粧料組成物。

〔16〕ヒトの皮膚に適用するための化粧料組成物であって、該化粧料組成物は、被覆率及び/又は不透明度を増強する量のタルク微粒子を含み、該タルク微粒子が、該化粧料組成物の該被覆率及び/又は不透明度を、(i) より少量の該化粧料組成物が、被覆率及び/又は不透明度の低下無しに、該皮膚の任意の与られた表面積に対して適用することができるように、及び/又は(ii) 該化粧料組成物の該被覆率及び/又は不透明度が、該タルク微粒子に欠ける該化粧料組成物に比して高められるように強化し、該タルク微粒子が、少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0、例えば少なくとも約3.0のラメラリティーインデックス及び該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウム含有率を有することを特徴とする化粧料組成物。

〔17〕前記組成物が、ファンデーション又はコンシーラーである、前記〔15〕又は〔16〕に記載の化粧料組成物。

〔18〕タルク微粒子の、化粧料組成物における被覆率及び/又は不透明度エンハンサとしての使用であって、該タルク微粒子が、少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0、例えば少なくとも約3.0のラメラリティーインデックス及び該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウム含有率を有し、場合により、該化粧料組成物が、ファンデーション又はコンシーラーであることを特徴とする使用。

〔19〕前記被覆率及び/又は不透明度エンハンサが、(i) ヒトの皮膚に適用した際の完全被覆率、及び/又は(ii) 少なくとも約70%の不透明度を与えるのに十分な量で存在する、前記〔15〕～〔17〕の何れか1項に記載の化粧料組成物、又は前記〔18〕記載の使用。

〔20〕前記タルク微粒子が、少なくとも約 $10.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0のラメラリティーインデックス及び該タルク微粒子の質量を基準として約10%未満のアルミニウム含有率を有する、前記態様の何れかに記載の化粧料組成物、又はプレスドパウダー化粧料、又は方法、又は使用。

〔21〕(i) 前記タルク微粒子が、少なくとも約2.0、例えば少なくとも約4.0、又は少なくとも約6.0のラメラリティーインデックスを有し、及び/又は(ii) 該タルク微粒子が、約5%以下、例えば約2%以下、例えば約1%以下のアルミニウム含有率を有する、前記態様の何れかに記載の化粧料組成物、又はプレスドパウダー化粧料、又は方法、又は使用。

〔22〕前記タルク微粒子が、例えば該タルク微粒子の疎水性又は親油性を高めるために、表面処理されている、前記態様の何れかに記載の化粧料組成物、又はプレスドパウダー化粧料、又は方法、又は使用。

〔23〕化粧料組成物における表面処理されたタルク微粒子の使用であって、該タルク微粒子が、少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0、例えば少なくとも約3.0の

ラメラリティーインデックスを有し、及び該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする使用。

〔24〕化粧料組成物の展延性を高めるための、該化粧料組成物における表面処理タルク微粒子の、例えばヒトの皮膚における使用であって、場合により、該タルク微粒子が、(A) 少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0、例えば少なくとも約3.0のラメラリティーインデックスを有し、かつ該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする使用。

〔25〕例えば、ヒトの皮膚に適用した際の、化粧料組成物に係る付着力、撥水性、皮脂吸収性及び/又は表面平滑性を高めるための、該化粧料組成物における表面処理されたタルク微粒子の使用であって、場合により、該タルク微粒子が、(A) 少なくとも約 $10.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0、例えば少なくとも約3.0のラメラリティーインデックスを有し、かつそこで該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として約10%未満のアルミニウムを含み；あるいは(B) 少なくとも約 $5.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージ、少なくとも約1.0、例えば少なくとも約3.0のラメラリティーインデックスを有し、かつ該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として約20%未満のアルミニウムを含むことを特徴とする使用。

〔26〕前記タルク微粒子が、少なくとも約 $10.0\mu\text{m}$ の d_{50} レージを有し、かつ該タルク微粒子が、該タルク微粒子の質量を基準として約10%未満のアルミニウムを含む、前記〔22〕～〔25〕の何れか1項に記載の使用。